

ソフト系IT業界の実態調査

報告書(第14回)

令和4年9月

一般社団法人 島根県情報産業協会
しまねソフト産業ビジネス研究会

はじめに

平素は情報産業の発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

島根県では平成 19 年度からソフト系 IT 産業の支援を強化されてきており、今年度におきましても厳しい財政状況の中、情報産業の振興を推進していただいております。お陰様で県内情報産業の人材育成や県外ビジネスの推進、Ruby 開発推進などにおいて数々の成果が上がってきております。

その効果の検証をも兼ねて、今年も県内のソフト系 IT 関連従事者数などの実態調査を実施いたしました。島根県情報産業協会・しまねソフト産業ビジネス研究会の会員を含む県内ソフト系 IT 企業 83 社にアンケート調査を依頼し、このうち 80 社(ソフト系 IT 企業 77 社)から回答を得ましたのでご報告申し上げます。

令和4年度 調査結果(概要)

- ・ソフト系 IT 企業従事者数(県内分) **1,717** 名 (前年 1,636 名: 105.0%、前々年 1,608 名)
- ・売上額(ソフト系 IT 企業) **32,222** 百万円 (前年 31,803 百万円: 101.3%、前々年 28,908 百万円)
- ・経常利益(ソフト系 IT 企業) **2,624** 百万円 (前年 2,598 百万円: 101.0%、前々年 1,657 百万円)
- ・Ruby エンジニア(全回答社) **500** 名 (前年 458 名: 109.2%、前々年 465 名)
- ・Ruby 開発売上(全回答社) **2,333** 百万円 (前年 2,290 百万円: 101.9%、前々年 1,755 百万円)

令和4年度調査では、売上額が 1.30%の微増で 322 億円となりました。経常利益は、1.0%増加し 26 億円となりました。根強いIT需要と、IT教育関連の特需が引き続きあり、売上・経常利益ともに昨年度の大幅な伸びの反動が見られるものの、調査開始以来の最高額を更新しました。

県内 IT 従事者数は 81 名増加の 1,717 名となりました。景況の先行きへの懸念から、採用の手控えがあった昨年と比べ、IT 業界の慢性的な人材不足から、人材採用動向が従来どおりに回復したものと考えられます。

H27 年度調査から行っている IT エンジニアの不足状況については、その数は、システムエンジニア 113 名、プログラマー 98 名となります。不足を訴える企業は、県内企業 29 社、県外企業 21 社であり、回答企業に占めるその割合は、県内本社では 63.0%、県外本社では 67.7%です。これまでと比較して、人材不足感は昨年引き続き緩和傾向を示していますが、なお6割を超える企業が不足を訴えております。

県内ソフト系 IT 企業が今後の更なる安定成長を図り、有能な県内若年労働者の雇用の場を確保する為に、協会も鋭意努力をする考えです。成長性の高い情報産業が県内の主要産業として産業振興の一翼を担うべく、協会挙げて取り組んでまいりますので、引き続き力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和 4 年 9 月

一般社団法人 島根県情報産業協会

会長 井上 浩

令和4年度ソフト系IT業界の実態調査報告書

目次

はじめに

1. 調査の概要	1
1-1 調査目的	
1-2 調査内容	
(1) 調査対象と調査方法	
(2) 調査項目	
(2)-1 IT従事者数	
(2)-2 売上高	
(2)-3 人材不足の状況	
(2)-4 Ruby関連調査	
1-3 回収状況	
2. 調査結果	
2-1 回答企業の属性	2
(1) 本社所在地及び県外事業所展開構成	
(2) IT従事者数別構成	
(3) 売上高別構成	
2-2 業績分析	
(1) IT従事者数推移.....	3
a) 従事者数推移	
b) 個別企業県内従事者数の増減	
c) 不足しているIT従事者数	
(2) 売上高推移.....	5
a) 売上推移	
b) 経常利益推移	
c) 売上の動向	
(3) Ruby関連.....	7
a) Rubyエンジニア数推移	
b) Rubyアソシエーション認定技術者数推移	
c) システム開発件数	
d) Ruby開発売上額	
(4) 情報処理技術者数.....	9
(5) IT関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他...	10
3. 調査結果集計表	12
4. 回答企業一覧と参加団体	14

1. 調査の概要

1-1 調査目的

島根県からソフト系 IT 産業に特別の支援を頂いており、その直接的あるいは間接的な効果を測定し、今後の更なるソフト系 IT 産業支援に役立てて頂くと共に、我々自身の経営方針・経営戦略に役立てる。

1-2 調査内容

調査対象と調査方法

(一社)島根県情報産業協会及びしまねソフト産業ビジネス研究会の全会員、その他県内 IT 企業の一部、県内ソフト系 IT 企業 83 社を対象とした。

対象企業に調査票を送付し、対象企業内で記入の後、メールにより回収した。今年度は、7 月を報告締切りとし 1 回で調査実施した。

なお、本調査報告でソフト系 IT 企業とは、産業分類上の情報サービス業及びインターネット付随サービス業と定義する。以下、調査報告の対象は特に言及する部分を除きソフト系 IT 企業の数値を掲げる。

(1) 調査項目

(1)-1 IT従事者数(正社員、非正規雇用者、派遣従事者別)

- a) 島根県内企業の県内 IT 従事者数及び県外事業所 IT 従事者数
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における IT 従事者数

(1)-2 売上高等

- a) 島根県内企業の売上高及び経常利益
- b) 島根県外本社企業の島根県内事業所における売上高及び経常利益

(1)-3 不足している人材

- a) 調査時点で不足を感じているシステムエンジニア・プログラマーの数

(1)-4 Ruby 関連調査

- 1 Ruby エンジニア数
- 2 Ruby アソシエーション認定技術者数
- 3 Ruby システム開発件数・売上額

(1)-5 情報処理技術者数(国家試験)

(1)-6 資格取得に関するその他・要望

(1)-7 IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他

(2) 期間

(2)-1 対象期間

- a) 売上等の決算関係数値は、調査時点での直近の決算数値
- b) IT 従事者数については 4 月 1 日現在の数値

(2)-2 調査期間 令和4年4月～令和4年8月

1-3 回収状況 回収件数 80 社(新規回答社 1 社、回収率 96.3%)

2. 調査結果

2-1 回答企業の属性

(1) 本社所在地及び県外事業所展開構成

本調査のソフト系 IT 企業の有効回答 77 社のうち、令和 4 年度調査の県内本社企業は 46 社。そのうち県外への事業所展開企業は、25 社。

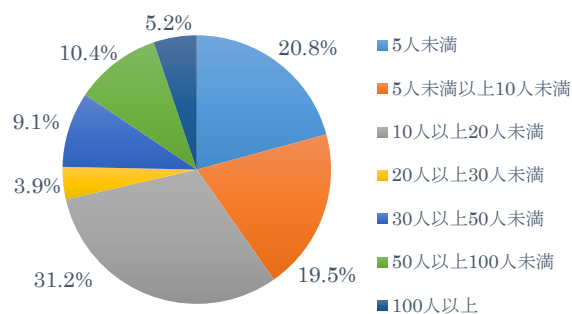
年 度	県内企業数(県外展開企業数)	進出企業数(従事者数)	合計
R2 年度調査	50 社(25 社)	29 社(241 名)	79 社
R3 年度調査	49 社(25 社)	30 社(261 名)	79 社
R4 年度調査	46 社(25 社)	31 社(275 名)	77 社

(2) IT 従事者数別構成

10 人未満の企業数が 40.3%を占める。従業員 30 名以上の企業は 19 社で、これらの企業の従事者数は IT 従事者総数の 79.3%を占める。

カテゴリー	社数(社)	構成比 (%)
5 人未満	16	20.8%
5 人～9 人	15	19.5%
10 人～19 人	24	31.2%
20 人～29 人	3	3.9%
30 人～49 人	7	9.1%
50 人～99 人	8	10.4%
100 人以上	4	5.2%
合計	77 社	100%

IT 従事者数別構成比率

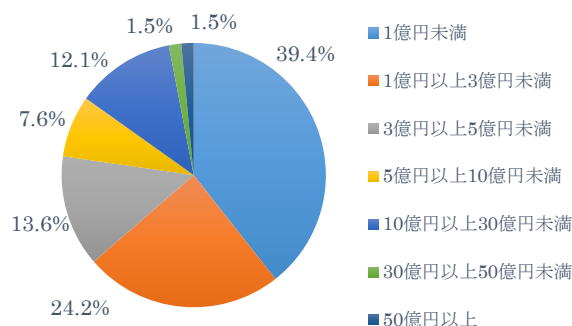


(3) 売上高別構成

有効回答 66 社の売上高別構成は、1 億円未満がもっとも多く 26 社で 39.4%を占める。10 億円以上の会社は 10 社(66 社の 15.1%)。その売上が 67.0%を占める。

カテゴリー	社数(社)	構成比 (%)
1 億円未満	26	39.4
1億～3億円未満	16	24.2
3億～5億円未満	9	13.6
5億～10億円未満	5	7.6
10億～30億円未満	8	12.1
30億～50億円未満	1	1.5
50億以上	1	1.5
合計	66 社	100%

売上高別構成比率



2-2 業績分析

(1) IT 従事者数推移

a) IT 従事者数推移

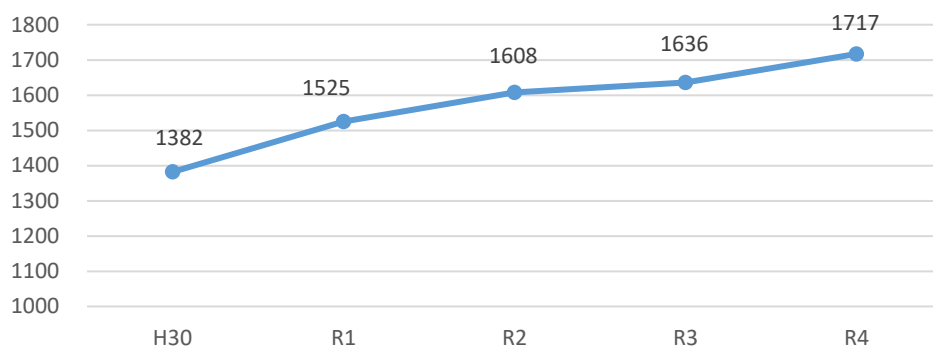
- ・令和4年度調査(令和4年4月1日現在)従事者数は、県内で従事する者が81名増加した。
- ・県内本社企業で67名増加し、県外本社企業で県内従事者が14名増加している。
- ・県内本社企業の県外従事者数は、70名増加の886名となった。

	R2年度調査		R3年度調査		R4年度調査	
	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事	県内従事	県外従事
小計	1,608	759	1,636	816	1,717	886
合計	2,367名		2,452名		2,603名	

※県内: 県内に本社を置く企業の県内従事者と進出企業の県内従事勤務者の合計

※県外: 県内に本社を置く企業の県外事業所に勤務する従事者の総数

県内IT従事者数推移 年度は調査年度

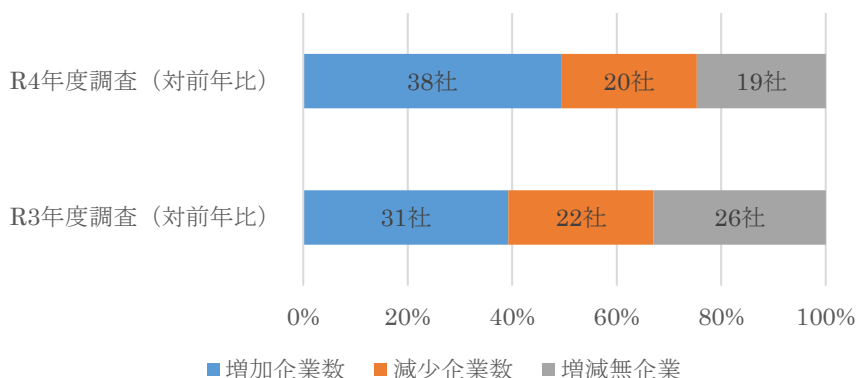


b) 個別企業県内従事者数の増減

- ・令和4年度調査県内従事者数が、前年に対し増加した企業数は38社。減少企業数は20社。有効回答社構成比でみると増加した企業は10.1ポイント増の49.4%。一方減少した企業は1.9ポイント減の26.0%である。
- ・ソフト系IT企業77社の1社あたり県内IT従事者数の中央値は11人である。

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R3年度調査従事者数(前年比較)	31社	22社	26社	79社
R4年度調査従事者数(前年比較)	38社	20社	19社	77社

個別企業従事者数の増減

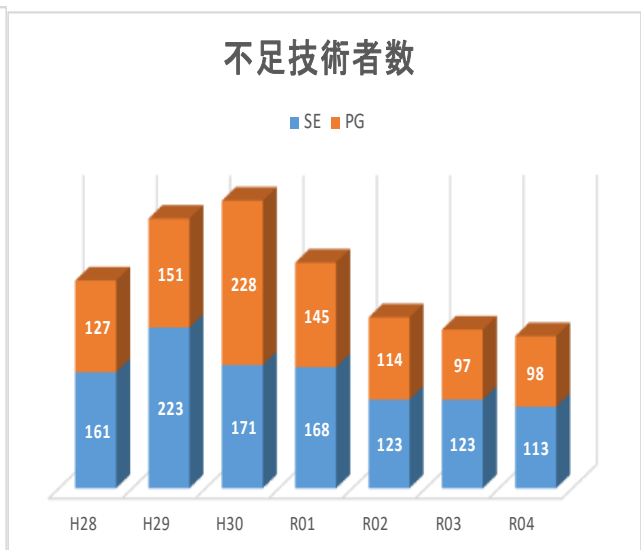
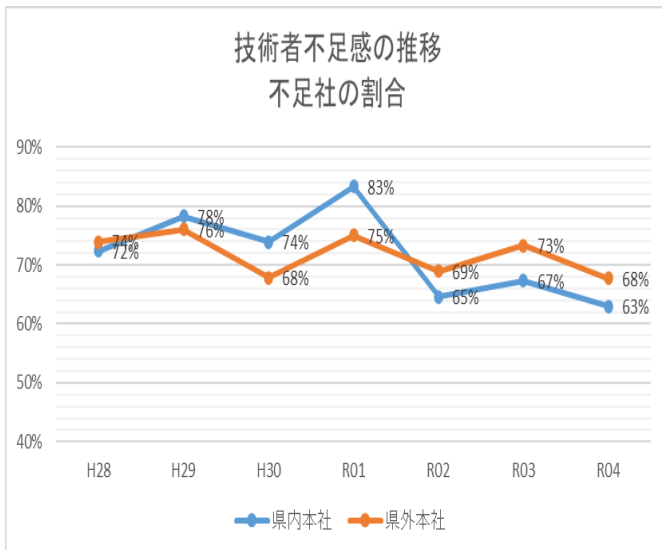


c) 不足している IT 従事者数

・IT 技術者（システムエンジニア・プログラマー）が不足していると感じている IT 企業は県内本社で 63.0%、県外本社で 67.7%、不足する技術者数はシステムエンジニアで 113 名、プログラマーで 98 名となった。昨年に引き続き、不足数は減少しており、不足感は緩和傾向にある。

区分		SE①	P②	①or②	有効回答	割合	
全社	社数	49	36	52	80	65.0%	
	不足数	117	100	217	2,754	7.9%	
IT 企業	社数	47	35	50	77	64.9%	
	不足数	113	98	211	2,603	8.1%	
本社別	県内	社数	28	22	29	46	63.0%
		不足数	68	73	141	2,328	6.1%
	県外	社数	19	13	21	31	67.7%
		不足数	45	25	70	275	25.5%

SE はシステムエンジニア、P はプログラマーを示す



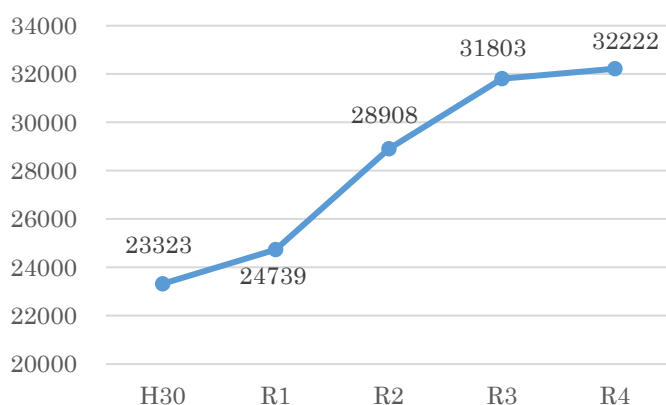
(2)売上高推移

a)売上推移

・令和4年度調査ソフト系IT企業の売上額合計は32,222百万円で、前年比1.3%の増加となった。

R2年度調査	28,908百万円(回答企業61社)	
R3年度調査	31,803百万円(回答企業66社)	(対前年比110.0%)
R4年度調査	32,222百万円(回答企業66社)	(対前年比101.3%)

売上高推移 年度表示は調査年度

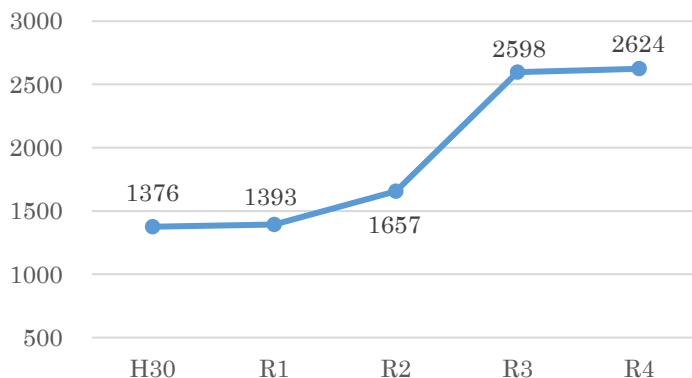


b)経常利益推移

・令和4年度調査ソフト系IT企業の経常利益額は2,624百万円で、前年度比1.0%増。

R2年度調査	1,657百万円(回答企業54社)	
R3年度調査	2,598百万円(回答企業62社)	(対前年比156.8%)
R4年度調査	2,624百万円(回答企業62社)	(対前年比101.0%)

経常利益推移 年度は調査年度

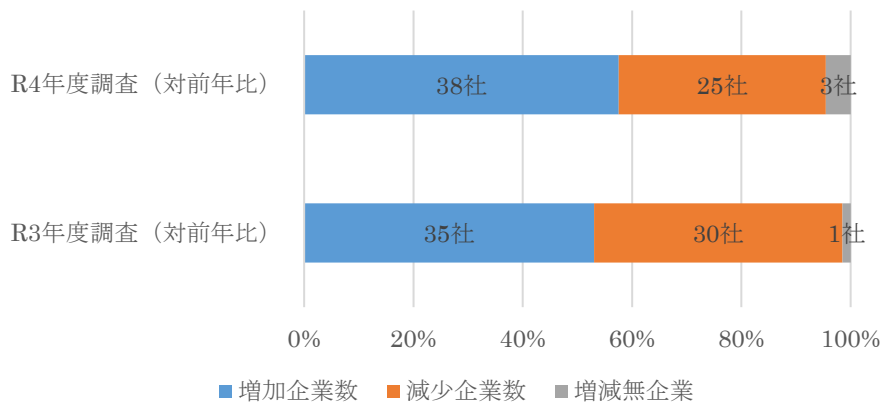


c) 売上の動向

- ・令和4年度調査売上で、前年に対し増加している企業数は、38社。
- ・令和4年度調査売上で、前年に対し減少している企業数は、25社。
- ・昨年と比較し、増加している企業の割合が4.5ポイント増の57.6%、減少した企業割合は7.6ポイント減の37.9%となっている。
- ・IT従事者1人当たりの売上高の中央値は10.5百万円で0.1百万円増加。

	増加企業数	減少企業数	増減無企業数	合計
R3年度調査売上高(対前年比)	35社	30社	1社	66社
R4年度調査売上高(対前年比)	38社	25社	3社	66社

個別企業売上の増減



(3) Ruby 関連

a) Ruby エンジニア数推移(回答社全社)

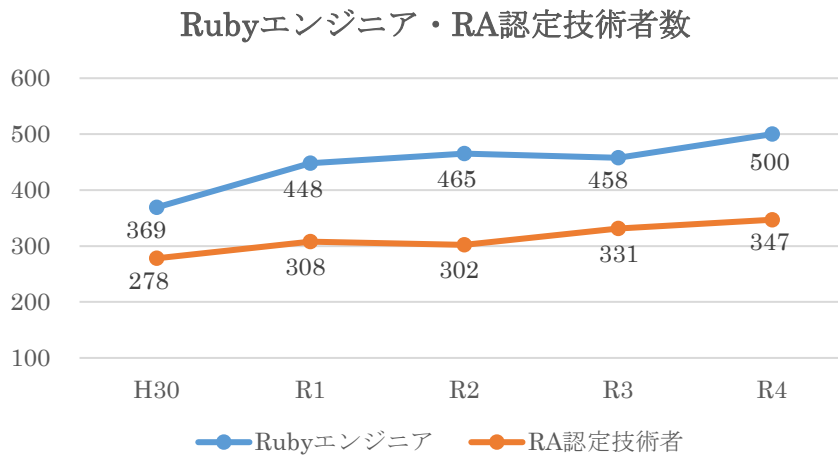
- ・令和4年度調査県内 Ruby エンジニア数は、500名で前年比9.1%増加となった。

	合計(社)
R2年度調査	465名(50社)
R3年度調査	458名(51社)
R4年度調査	500名(50社)

b) Ruby アソシエーション認定技術者数推移(回答社全社)

- ・令和4年度調査 Ruby アソシエーション認定技術者合計数は、前年度比4.8%増加。
- ・Ruby Silverについては、前年比2.0%増加した。
- ・Ruby Goldについては、前年比13.4%増加した。

	Ruby Silver	Ruby Gold	計
R2年度調査	228名	74名	302名
R3年度調査	249名	82名	331名
R4年度調査	254名	93名	347名

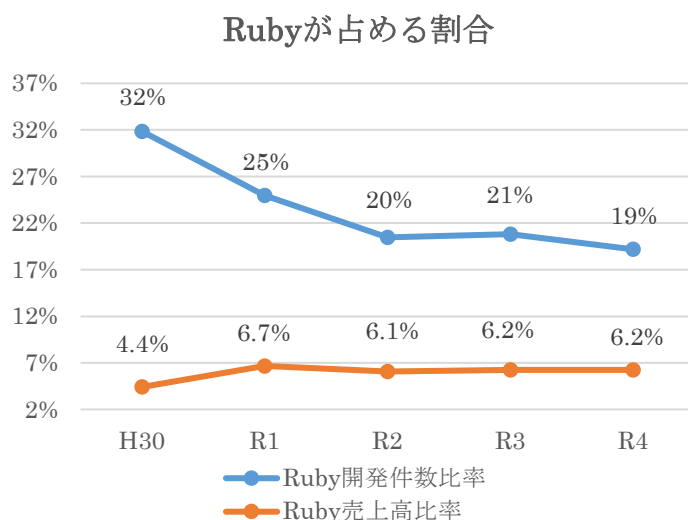


c) システム開発件数(ソフト系 IT 企業)

- 令和 4 年度調査 1 件 50 万円以上のシステム開発件数は 21.0% 増加した。
Ruby 開発件数は 11.5% 増加した。
- システム開発における Ruby の件数割合は 2 割程度にとどまる。

年 度	システム開発件数(県外)	Ruby 開発件数(県外)	Ruby 開発比率
R2 年度調査	1,501 件(189 件)	307 件(37 件)	20.4%
R3 年度調査	1,498 件(195 件)	312 件(53 件)	20.8%
R4 年度調査	1,814 件(274 件)	348 件(46 件)	19.1%

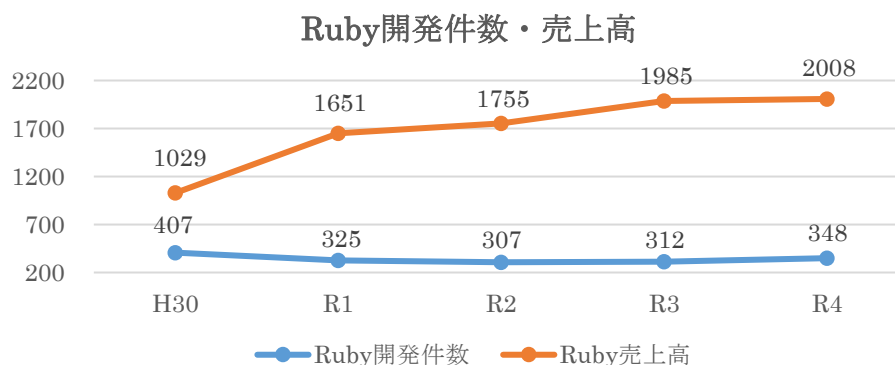
※県外: 県外に本社を置く企業の開発件数



d) Ruby 開発売上額(ソフト系 IT 企業)

- 令和 4 年度調査 Ruby 開発売上額は、前年比 1.1% の増加であった。Ruby を用いたシステム開発の売上は全体の売上の 6.2% である。
- Ruby エンジニアの 1 人あたりの受注金額 (中央値) は 3.0 百万円である。

年 度	ソフト系 IT 企業全売上	ソフト系 IT 企業 Ruby 売上 (県外)	Ruby 売上比率
R2 年度調査	28,908 百万円	1,755 百万円(385 百万円)	6.1%
R3 年度調査	31,803 百万円	1,985 百万円(806 百万円)	6.2%
R4 年度調査	32,222 百万円	2,008 百万円(778 百万円)	6.2%



(4)情報処理技術者数(全回答社)

・情報処理関連国家資格取得に対する各社の熱意は大きいものがあり、近年特に情報セキュリティに関する資格取得の増加傾向が注目される。

	R2年4月1日時点		R3年4月1日時点		R4年4月1日時点	
	社数合計	技術者数 合計	社数合計	技術者数 合計	社数合計	技術者数 合計
ITパスポート (初級シスアド)	46	309	46	356	48	320
基本情報(二種)	63	752	63	752	59	781
応用情報 (一種・ソフトウェア開発)	48	310	45	318	43	331
データベース	19	54	21	53	22	59
ネットワーク	25	76	24	69	25	74
エンベテッド	5	7	5	5	4	7
情報セキュリティー	27	127	27	131	29	129
ITサービスマネージャ (システム管理)	7	26	6	23	6	26
システムアーキテクト (特種・アプリケーション)	11	38	9	31	9	33
プロジェクトマネージャ	8	37	8	30	8	33
ITストラジスト (アナリスト・上級シスアド)	7	14	7	10	5	10
システム監査	4	6	4	4	4	5

(5) IT 関連施策への提言や協会活動、資格取得に関する要望、その他等

A社(県内)

- ・IT 人材育成の経費助成 (→行政)
- ・IT 技術者や IT 営業員等の人材確保支援 (→行政)
- ・継続的な IT 人材育成事業の推進 (→協会)

B社(県内)

1. 島根県への要望

オリジナルな製品やサービスを創出し、県外マーケットに進出する企業の創出や既存の企業への支援の一層の充実をお願いしたい。

2. 島根県情報産業協会への要望

経営者の育成に力を入れた研修を行って欲しい。

又、新しいビジネスを創出出来る人材の育成に力を入れて欲しい。

C社(県内)

デジタル庁の発足により、より未来志向のDX推進や更なるIT化への取組みがすすむなか当県は行政関連のシステム対応に携わっている企業も多いことなどから、情産協(行政も交えて)として、県内IT企業の今後のあり方や地域貢献につながる先進的な事柄について共同研究やシステム化の取り組み・実践を行って欲しい。

D社(県内)

・昨今県外・首都圏企業や提供サービスを前提としたような調達案件も散見されるように感じる。地元 IT 企業の受注やビジネス拡大への継続的な後押しをさらにお願したい。そのためにも、地元 IT 企業がより参加しやすい形態や仕様での調達や事案を増やしていただきたい。また、異業種や地元民間企業との協業事案等に対しては補助金や助成などの予算含めた支援策もより強化していただきたい。

・まだまだ人材不足の状況ではあるが IT 企業の新卒・中途採用も活性化し、また研修会などもオンライン講座を中心に受講しやすく充実してきている。

ただ、新人や若手中心に育成が組み立てられているように感じており、企業内にはより活躍して欲しい、よりその経験や見識をビジネスに生かしステップアップしてほしい中堅社員(人材)のレベルアップや活性化がもう一つの重要なテーマにも思える。

情産協として、この中堅層にフォーカスした人材交流会や意見交換会、ワークショップなどの企画を検討されても良いように思う。

E社(県外)

協業により新しい価値を提供する取組みを行いたいので、支援いただける活動を期待します。

F社(県外)

7月11日テクノアークにて開催の「SHIMANE デジタル技術体験・展示会」の様な先端の技術について、技術単体での説明にとどまらない、実現場での活用例や方向性など、「技術を活かすための知識習得、事例紹介、体験の場」を、今後も継続的にお願いしたいと思っております。

G社(県外)

資格保有者と、実績として活躍しているIT人材のギャップがさらに大きくなっております。世界的に「出来る」といわれる日本人のIT人材はドバイやシンガポール等の海外での居住しながら自分の活躍のフィールドを広げ自由かつ広い視野で開発が広がっている一方で、日本は資格があれば将来安泰または数百円から数千円の給与アップ等に向けて励んでいる状態。近年「日本の給与は世界比較で低い」というニュースを真剣に捉えると、上記ギャップが埋まらない限りIT人材の海外への流出はさらに加速され、日本国内の開発人員は「資格があれば優秀」という誤った考えの人材のみが残ると危惧しております。

またIT関連の施策や資格に向けた取り組みというテーマであれば、根本を見直さないとさらにギャップは広がると考えています。一つの視点として、資格を取る人の感情が「給与アップ」というのであれば、資格を取ったら国から補助金を出すというのは可能性はある話だと考えます。企業負担ではなく一律に国庫負担でしかも数千円のレベルではなく「あこがれる金額」でないと意味はない。資格がある人がスキルの維持しただけでは翌年はその金額はもらえず更なるスキル向上者のみ翌年ももらえるという制度。そしてそのスキルを活かした職業に就いている人にはさらにインセンティブ。職業差別という声も出てくるはずなので制度組み立てが課題。骨子としてはこのぐらいかと考えてみました。

3. 調査結果集計表

3-1) 売上高・経常利益・IT 従事者数

区分	R2 年度調査								
	R2 年度調査 売上高 (百万円)	R2 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (H2 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	38,646	2,212	1,559	102	68	710	8	41	2,488
ソフト系 IT 社	28,908	1,657	1,438	102	68	710	8	41	2,367

区分	R3 年度調査								
	R3 年度調査 売上高 (百万円)	R3 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (R3 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	50,080	3,176	1,623	85	73	718	14	84	2,597
ソフト系 IT 社	31,803	2,598	1,481	82	73	718	14	84	2,452

区分	R4 年度調査								
	R4 年度調査 売上高 (百万円)	R4 年度調査 経常利益 (百万円)	IT 従事者数 (R4 年 4 月 1 日時点)						合計(名)
			県内従事者数			県外従事者数			
			正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	正社員・ 役員	非正規 雇用	派遣受 入れ	
全回答社	54,395	4,401	1,673	105	82	778	19	97	2,754
ソフト系 IT 社	32,222	2,624	1,531	105	81	770	19	97	2,603

有効回答社数(令和 4 年 7 月)

- ・アンケート回答社数 80 社(うちソフト系 IT 企業 77 社)
- ・売上高有効回答社数 69 社(うちソフト系 IT 企業 66 社)
- ・経常利益有効回答社数 65 社(うちソフト系 IT 企業 62 社)

3-2) Ruby 関連調査項目

① Ruby エンジニア数 ② Ruby アソシエーション認定技術者数 (全回答社)

R2 年度調査				
人数(R2年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	465 名	228	74	302 名

R3 年度調査				
人数(R3年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	458 名	249	82	331 名

R4 年度調査				
人数(R4年4月1日時点)				
Ruby エンジニア数	Ruby アソシエーション認定技術者数			
	Ruby Silver	Ruby Gold	合計	
合計	500 名	254	93	347 名

③ システム開発件数(ソフト系 IT 企業)と Ruby を使用したシステム開発件数(内数) Ruby 開発売上額(受注金額 50 万円以上の件数 ソフト系 IT 企業)

R2 年度調査			
開発完了時点(H31年4月1日~R2年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,501 件(189 件)	307 件(37 件)	1,755 百万円(385 百万円)

R3 年度調査			
開発完了時点(R2年4月1日~R3年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,498 件(195 件)	312 件(53 件)	1,985 百万円(806 百万円)

R4 年度調査			
開発完了時点(R3年4月1日~R4年3月31日時点)			
受注金額 50 万円以上のシステム開発件数			
システム開発件数 (県外件数)	Ruby 開発件数:内数 (県外件数)	Ruby 開発売上額(県外分)	
合計	1,814 件(274 件)	348 件(46 件)	2,008 百万円(778 百万円)

4. 回答企業一覧と参加団体

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
1	松江	(株)アイ・コミュニケーション	○	○	
2	東京	(株)アイティープロデュース出雲支店	○		
3	松江	(株)アイテック	○	○	
4	出雲	(有)アイナス		○	
5	東京	(株)アイル	○		
6	松江	(株)アキュートシスコム	○	○	
7	東京	(株)アズム	○		
8	松江	(株)アバンセ	○		
9	東京	(株)アレックス			○
10	出雲	(株)イーグリッド	○	○	
11	松江	(株)イーストバック		○	
12	東京	(株)イード	○		
13	東京	(株)e-Front	○		
14	出雲	いずもトータルネット(株)		○	
15	松江	(株)イプシロンソフトウェア	○		
16	東京	(株)インターネットイニシアティブ	○		
17	東京	エクスウェア(株)	○		
18	出雲	(株)エスティック	○	○	
19	松江	(株)エバーコム		○	
20	東京	エフ・エスソフトウェア開発(株)	○		
21	松江	(株)MC セキュリティ			○
22	松江	(株)オネスト	○	○	
23	東京	(株)オプティマ	○		
24	東京	ガリレオスコープ(株)	○		
25	東京	(株)クシム・ソフト	○		
26	東京	(株)ケー・エス・イー 島根開発センター	○		
27	東京	(株)コプロシステム			○
28	松江	小松電機産業(株)	○		
29	東京	(株)コミクリ	○		
30	浜田	(株)コンピュータ・コンサルタント	○	○	
31	大阪	三徳コーポレーション(株)			○

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
32	愛知	(株)CMC Solutions	○		
33	出雲	(株)シーエスエー	○	○	
34	東京	(株)ジェイハウス	○		
35	松江	(株)ジェットシステム	○	○	
36	松江	(株)システムリンク		○	
37	松江	(株)システム工房エム	○	○	
38	益田	(株)システムズアイ	○		
39	出雲	(株)島根情報処理センター	○	○	
40	松江	島根電工(株)	○		
41	松江	セコム山陰(株)	○		
42	東京	(株)セントラル情報センター	○		
43	松江	(株)SOLA		○	
44	益田	(株)ソコロシステムズ		○	
45	松江	(株)ダイヤコンピュータサービス	○	○	
46	松江	ティーエスケイ情報システム(株)	○		
47	東京	ディーアイエスソリューション(株)			○
48	松江	(株)ティーエム 21	○	○	
49	松江	(株)テクノプロジェクト	○	○	
50	東京	テラテクノロジー(株)	○		
51	東京	トレンダーズ(株)			○
52	松江	日海通信工業(株)	○		
53	愛知	日本システム開発(株)	○		
54	出雲	(株)日本ハイソフト	○	○	
55	東京	(株)日本ワイドコミュニケーションズ			○
56	松江	(株)ネットワーク応用通信研究所	○	○	
57	出雲	(株)バイタルリード	○		
58	浜田	パストラルコンピューターシステム(株)	○		
59	東京	(株)パソナテック 島根 Lab	○		
60	浜田	(株)浜田コンピュータシステム	○	○	
61	広島	(株)日立インフォメーションエンジニアリング	○	○	
62	松江	ピーシーエッグ(株)		○	
63	松江	(株)ビジネスインフォーメーションガーヴァン		○	
64	東京	(株)ヒューマンシステム	○		
65	松江	(有)ヒューマンネット	○	○	

No.	本社所在地	企業名	情産協	ビジネス研究会	その他
66	松江	ファーエンドテクノロジー(株)		○	
67	東京	(株)フェンリル	○		
68	出雲	(株)プロビズモ	○	○	
69	松江	(株)ペンタスネット	○	○	
70	益田	(株)マイメディア	○	○	
71	益田	(株)マスダシステム開発		○	
72	松江	(株)マツケイ	○	○	
73	松江	(株)松江情報センター	○	○	
74	松江	(株)ミック	○		
75	東京	(株)モンスター・ラボ 島根開発拠点	○		
76	松江	(株)八雲ソフトウェア	○		
77	松江	(有)ヨネザワ写真館			○
78	松江	(株)ルーツ		○	
79	松江	和幸情報システム(株)	○	○	
80	東京	(株)ピーエスシー ※	○		
		小計	60 社	38 社 (内情産協会員 26 社)	8 社
		合計	80 社		

※新規回答企業 1 社